

【概要】石岡市民会館個別施設計画

■基本的な考え方

市民会館個別施設計画策定の参考とするため、市民アンケートを実施したところ、「市のシンボル」「市の顔」等、市民の自慢できる施設として市民会館が必要と思っている方が68%であった。

また、建設に当たっては「単独館で新しく建替える」が46%、「複合文化施設で新しく建替える」が9%で、合わせて55%の方が新築を望んでいる結果であった。

既存場所は道路が狭隘で一方通行のためイベント時は渋滞し近隣市民への影響も生じていることから、道路アクセス環境等も踏まえ建設場所は公有地の中から検討していきたい。

さらに、財源の確保の面で複合施設で整備することで、公共施設等適正管理推進業債の複合事業の有利な起債申請が可能となるため、他の公共施設と合わせて「移転・複合文化施設」として整備する方向を考えている。

また、他自治体との連携協力などについても視野に入れる必要もある。

さらに、文化活動の拠点・誰でも使いやすい施設・市民が文化活動への参加、交流が身近にできる施設となることも目指したい。

1. 対象施設

市民会館 総社一丁目-2-5 延床面積 4,621.30㎡ 昭和42年度築 51年 構造 RC造

2. 計画期間

令和2年度から令和11年度までの10年間。

3. 対策の優先順位の考え方

優先順位① 市民ニーズに合ったユニバーサルデザイン化を重視した施設。

② 舞台機構（音響・照明等）の充実。

4. 個別施設の状態等

- ① オーデトリウム棟でIS値0.41と構造耐震判定指標を下回る耐震性能が確保されていない施設。
- ② 建築基準法第12条調査結果、建物外部・内部・避難誘導施設で要是正13箇所、うち既存不適格との判定が7箇所（吊り天井に触れ止めや斜め材がない等）あった。
- ③ 空調はオーデトリウム棟は昭和43年設置から51年が経過、管理棟は最終更新が平成8年で22年が経過していて、機器基盤や部品等は廃盤又は製造されていないため修理は困難である。

5. 対策内容と実施時期 下記工程表のとおり。

業務内容		R2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
基礎調査	実施時期	→									
基本設計 実施設計	実施時期			→							
建設工事	実施時期				→						
建築工事費	対策費用				1,849百万円						

※令和2年度基礎調査を行いつつ（候補地及び敷地条件等・整備手法・事業手法【民間活用】・基本構想）利用団体等との対話を重ね、機運を醸成した上で、総合評価し、基本実施設計・建設工事に入る計画であるが全体計画の優先順位や財源状況などで再度見直しする。

6. 対策費用

既存施設と同規模試算

※「石岡市公共施設白書」のコスト試算で用いた地域総合整備財団の更新費用試算単価40万/㎡
40万 × 4,621.3㎡ = 1,848,520千円

7. 今後の対応方針

- 計画の趣旨を全庁的に共有し、関連する所管課と共通認識と施設を所管する部署が連携し庁内横断的な取り組みを行っていく。
- 行革部門、財政部門、企画部門と連携し、事業の優先順位の決定・効率的な予算配分などについて、協議・調整等を図っていく。